



「CSR特集」
森林づくり活動「イビデンの森」
イビデン株式会社

イビデングループの歴史は、電力会社から始まりました。

揖斐川水系の水力発電所によって生み出された電力は、地元大垣の発展に寄与してまいりました。100年を経過した現在でも三つの水力発電所が現役で稼働しており、CO2が発生しないクリーンなエネルギーとして発電し続けています。

2008年当社グループは、創業時の水力発電所ゆかりの地、揖斐川町東横山を中心に、「森林づくり・イビデンの森活動」を開始いたしました。以来10年間にわたり約40haの地域で植樹や下草刈り、間伐・除伐などを地域住民の方々、社員、社員家族にOB・OGも参加した活動を継続しています。

いままでに延べ3,300名以上の参加者により、「イビデンの森」は着実に成長し、当社グループの地球環境保護活動のシンボルとなっています。また自治体・地域住民の方々、NPOとも連携して、子どもたちが参加する自然観察会や発電所見学ツアーなども行い、地域交流の場ともなっています。

今後も参加者の輪を広げ、地域に愛される「森林づくり・イビデンの森活動」を実施していきます。



社員と社員家族による発電所周辺の植樹活動



秋の自然観察会、里山体験活動



新入社員による森の遊歩道の整備活動



社員、OB・OGと地域住民との下草刈